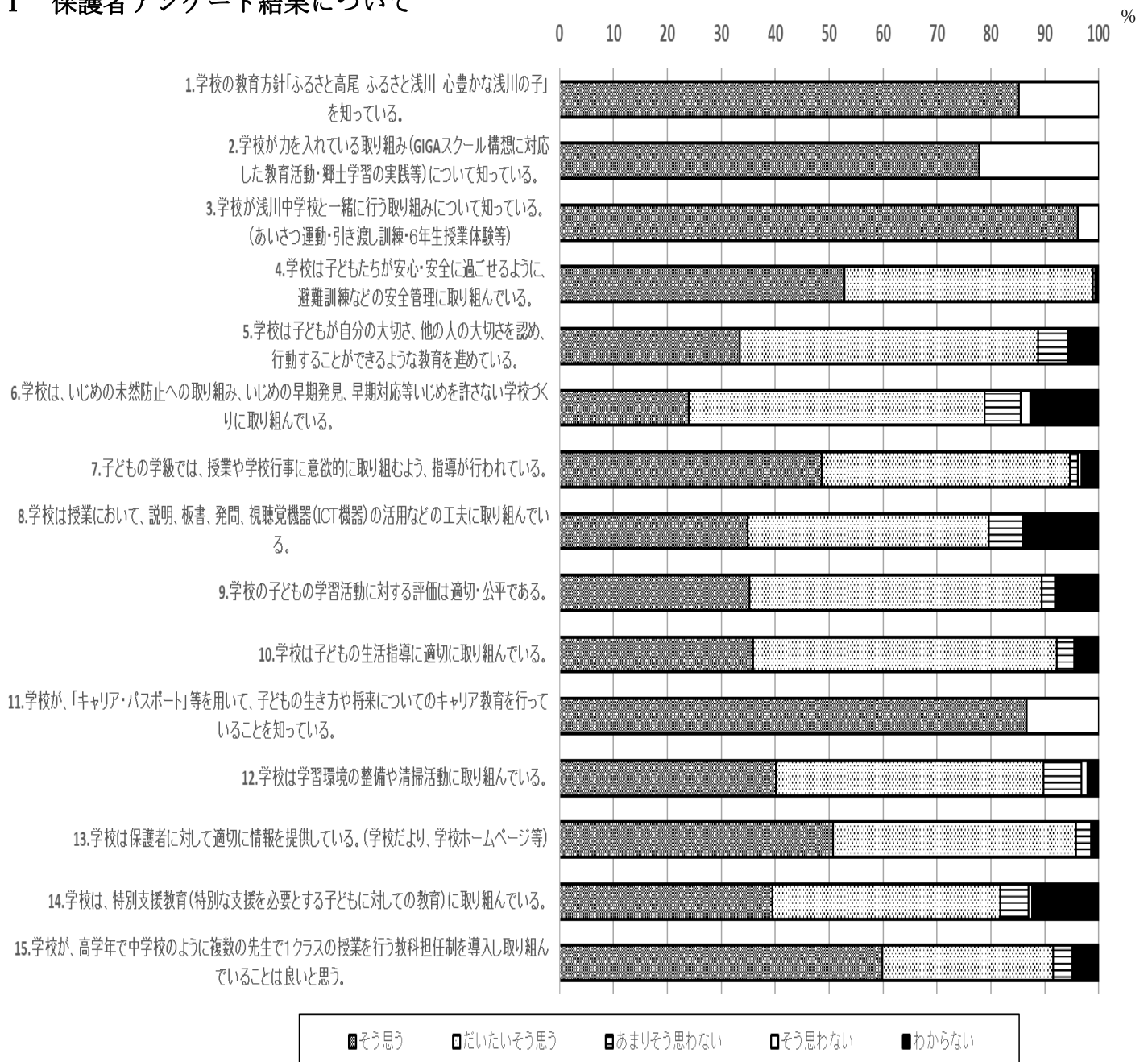


12月にご協力いただいた学校評価の集計結果がまとまりましたのでお知らせします。

- I 保護者アンケート結果について（1～2ページ）
- II 児童アンケート結果について（3～4ページ）
- III 学校関係者アンケート結果について（5ページ）

I 保護者アンケート結果について



設問 3 「学校が浅川中学校と一緒に言う取り組みについて知っている。(あいさつ運動・引き渡し訓練・6年生授業体験等)」

- 前回のアンケート結果でも 90%を超える高い評価をいただきましたが、今回はさらに上昇し、95%を超える評価をいただきました。浅川中学校とは、あいさつ運動・引き渡し訓練・6年生授業体験の他にも、小中一貫教育の日には互いの授業を見合ったり情報共有をしたりしながら、連携を強化しております。授業以外の活動では、年に3回、両校の学校運営協議会や浅川中学校の部活動が連携して、クリーン活動も行っております。今後も小中9年間を見据え、取り組みを継続してまいります。

設問 7 「子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。」

- こちらも前回より5%ほど上昇し、95%という高い評価をいただきました。学習に向かう子どもたちの姿勢に対して、保護者の皆様から理解を得られていると捉え、大変有難いことと受け止めております。学校行事に関して、今年度は運動会や学芸会がありました。子どもたちが自分のもてる力を最大限に発揮できるよう、教員も全力で指導を行いました。保護者アンケートからも好意的なご意見をたくさんいただいておりますが、一方で要望等もいただいております。今後もよりよい学校行事を運営していくために、改善できることは対応してまいります。

設問 8 「学校は授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（ICT 機器）の活用などの工夫に取り組んでいる。」

- こちらは前回より10%ほど減少しました。本校の教員は学校内外において様々な研修に参加し、指導力の向上に努めております。本校は若手からベテランまで教員の年齢層も幅広く、学年会や校内研究、OJT 勉強会などを定期的に行い、教員同士が教え合い、学び合う時間を設定しております。しかしながら、指導力の向上は一朝一夕に身につくものではありません。今後も子どもたちにとってわかりやすい指導方法を模索し、工夫し続けてまいります。また、視聴覚機器（ICT 機器）の活用に関しては各教科等で進めているところですが、今後も教科の特性を生かし、活用を図ってまいります。

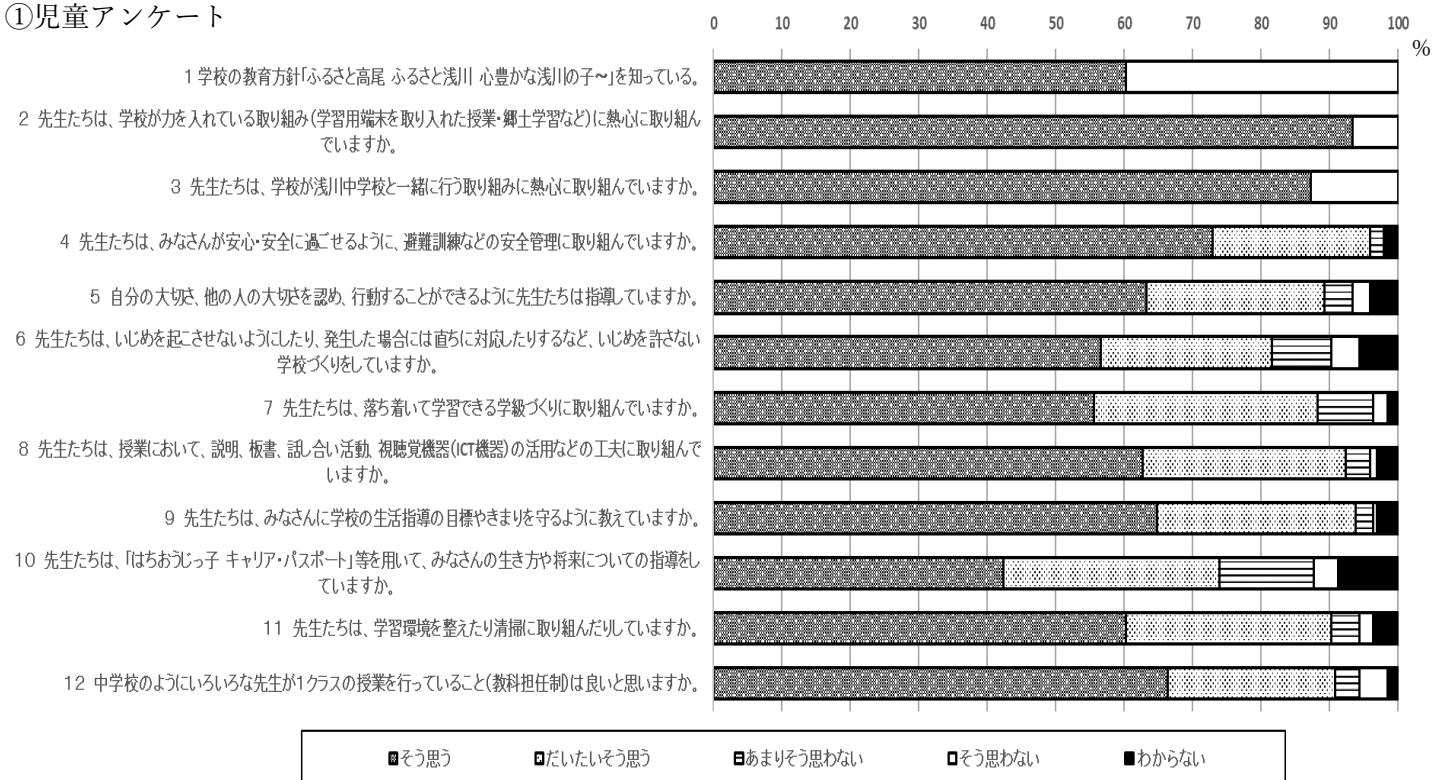
設問 14 「学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。」

- こちらも前回より上昇し、80%を超える評価をいただきました。本校には「特別支援教室たかお」があり、学級担任や専科教員が連携しやすい環境にあります。教員同士の日頃のコミュニケーションは勿論のこと、校内委員会を適宜開催し、情報共有を行いながら、報告・連絡・相談を大切にしております。今回の数値は、こうした学校全体の姿勢が保護者の皆様にも伝わっていることと捉え、有難く思います。子どもたちの困り感に気づき、寄り添い、手立てを講じることは、子どもたちが充実した学校生活を送ることにもつながっていきます。今後も子どもたちが自分を大切にして毎日を過ごせるよう、教員一同、努力してまいります。

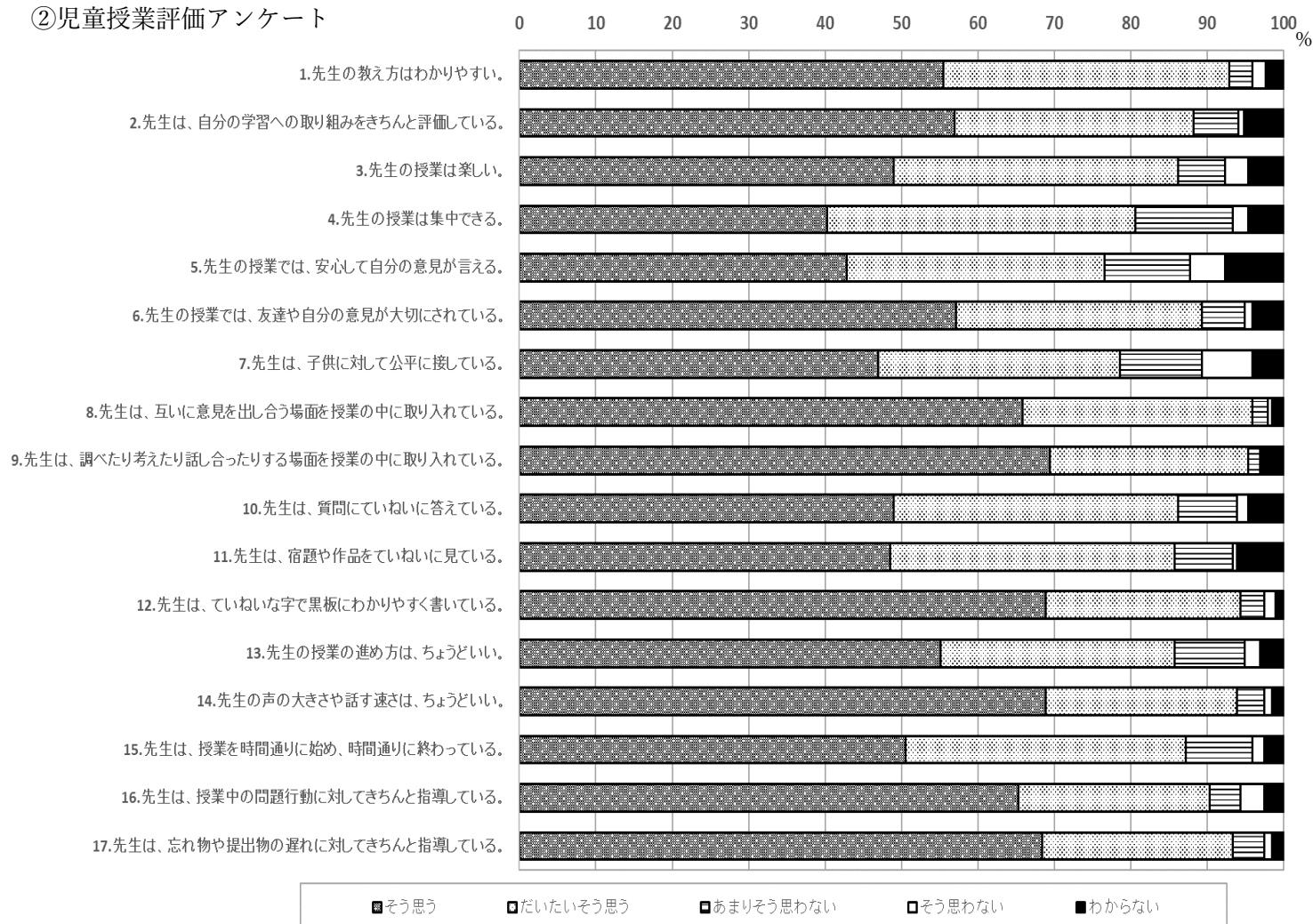
Ⅱ 児童アンケート結果について

※児童へのアンケートは、5・6年生を対象に行っております。

①児童アンケート



②児童授業評価アンケート



①児童アンケート

設問4 「先生たちは、みなさんが安全・安心に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいますか。」

- 前回のアンケート結果より「そう思う」の数値が10%ほど上昇し、前回同様、肯定的な数値が非常に高い状況でした。本校では月に一度避難訓練を設定し、火事や地震等の災害が起こった時に、子どもたちが安全且つ迅速に自分の命を守れるよう、指導を行っております。また、避難訓練後には各学級で事後指導を行っておりますが、この項目の数値が高いのは、子どもたちが各担任の話を真剣に聞いている証でもあると捉えております。災害はいつどこで起こるか分かりません。いざという時に落ち着いて行動できるよう、今後も継続して指導を行ってまいります。

設問6 「先生たちは、いじめを起こさせないようにしたり、発生した場合には直ちに対応したりするなど、いじめを許さない学校づくりをしていますか。」

- こちらも前回より「そう思う」の数値が上昇し、非常に高い評価となりました。本校では毎週火曜日に生活指導夕会を行い、各クラスの状況について全教員で情報共有を行っております。また、八王子市では学期に一度「いじめアンケート」をとっております。本校でも、不安や悩みを抱える児童がいる場合には、児童に寄り添い、全教職員で「いじめは絶対に許さない」という姿勢で臨んでおります。各クラスの子どもたちが毎日楽しくすごせるよう、今後も一人一人の心の変化を注意深く見てまいります。

設問10 「先生たちは、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、皆さんの生き方や将来についての指導をしていますか。」

- 前回に比較し、肯定的な数値が高くなっていますが、「そう思わない」「分からない」も微増しています。「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」は、子どもたちが学習面や生活面等に対する1年間の目標を立て、各学年末には自身を振り返り、次の学年につなげていくもので、小中9年間を見据えた八王子市の取組です。高学年では、「キャリアプランニング能力」を身に付けさせる目的もあります。今回の結果は、各担任が「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」を用いた指導方法を工夫する必要がある、ということと受け止め、指導事例などを校内で共有してまいります。

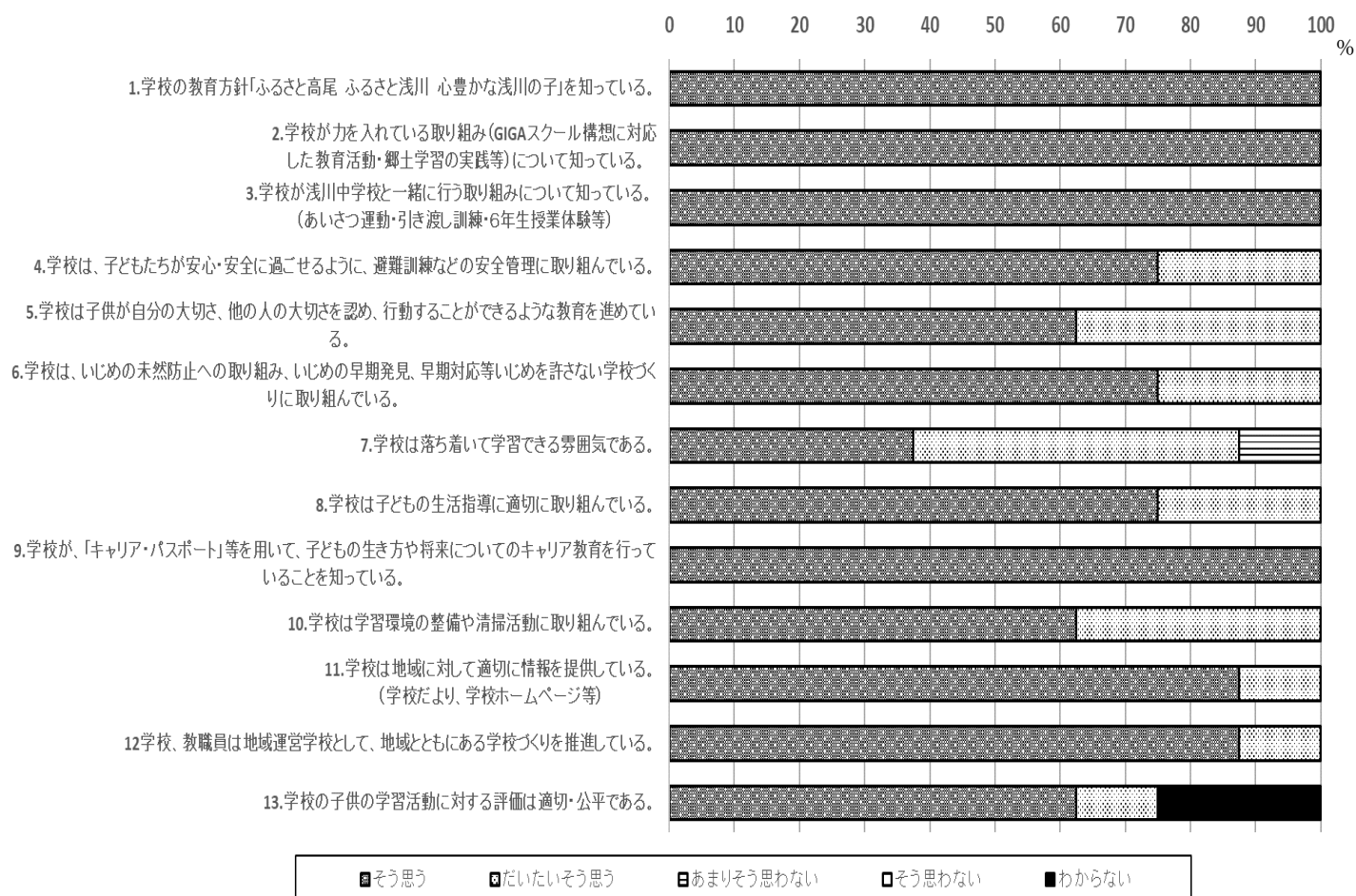
設問12 「中学校のようにいろいろな先生が1クラスの授業を行っていること（教科担任制）は良いと思いますか。」

- こちらも依然高い評価となりました。本校に教科担任制が導入され、2年目になりました。高学年児童も高学年担任も教科担任制に慣れ、各教科担当は、昨年度以上に円滑で充実した指導を行っております。クラスの垣根を超え、同じ学年の児童とも関わり合えることは、各教科担当にとってもよい刺激となっているようです。

②児童授業評価アンケート

- 今回のアンケートでも全体的に肯定的な回答となりました。特に、設問14「先生の声の大きさや話す速さは、ちょうどいい。」や、設問17「先生は、忘れ物や提出物の遅れに対してきちんと指導している。」は、数値が上昇しております。各担任や専科教員が、子どもたちの反応を確かめながら共に授業をつくり上げていること、日常生活を送る上で大切なことを指導していることが、子どもたちに伝わっていると捉えております。一方で、設問5「先生の授業では、安心して自分の意見が言える。」や、設問7「先生は、子供に対して公平に接している。」の「そう思わない」「分からない」の数値も前回同様10%あります。子どもたちが自分の心を開放し、のびのびと学校生活を送れるよう、教職員自身が自分自身を顧みる努力を続けてまいります。

Ⅲ 地域・学校関係者アンケート結果について



今回も肯定的な評価を多数いただきました。学校運営協議会の皆様には、日頃から本校の教育活動に積極的に関わっていただき、様々な場面で子どもたちや教職員の姿を見ていただいております。心より感謝申し上げます。

さて、設問7「学校は落ち着いて学習できる雰囲気である。」に関して、今回のアンケートでは「あまり思わない」の数値が14%ほどありました。学習補助や席書会等で子どもたちの姿を見ていただいておりますが、気持ちが落ち着かない子どもや、支援を要する子どもがいるのも事実です。年度末の今だからこそ、教室環境や学習規律について改めて見直し、落ち着いて学年末を迎えられるよう、教員一同、努力してまいります。

今後も率先して開かれた学校づくりをおこない、地域と共にある浅川小学校をつくってまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

自由記述にもたくさんのご意見をお寄せいただきありがとうございました。学校として回答することができる内容等につきましては、学校だよりで随時お知らせしていきます。ご協力ありがとうございました。